2022年6月：JaCVAM活動マンスリーレポート

NO.	項　　目	記　　載　　内　　容
論文・総説		
1	著者名	小島肇夫
	論文題名	医薬部外品承認申請における動物実験代替法の利用と留意点
	雑誌名、巻（号）、ページ、年	日本香粧品学会誌, 2022;46(1):30-36.

学会発表・セミナー発表		
1	発表者名（口頭）	安部賀央里[1], 成田和人[2], 小林睦[2], 立花滋博[2], 村崎亘[1], 鈴木政晴[1], 頭金正博[1], 足利太可雄
	他機関所属の著者がいる場合には所属機関名を記載する	[1] 名古屋市立大学大学院薬学研究科 [2] 一般社団法人食品薬品安全センター　秦野研究所
	演題名	機械学習アプローチを用いたin silicoモデルによるヘアカラー原料の皮膚感作性強度予測
	学会名, 発表年月及び場所	第47回日本香粧品学会(2022.6.10, Virtual)
2	発表者名（口頭）	小島　肇
	演題名	3D モデル一般論
	学会名, 発表年月及び場所	MMS研究会第80回定例会(2022.6.17, Virtual)
3	発表者名（ポスター）	Kojima H
	演題名	Approach to New Approach Methods developed by Japan in OECD WNT
	学会名, 発表年月及び場所	ICCA-LRI Workshop 2022(2022.6.20-21, 横浜)
4	発表者名（口頭）	足利太可雄
	演題名	THP-1細胞の活性化を指標にしたナノマテリアル(NM)のin vitro免疫毒性試験法の開発
	学会名, 発表年月及び場所	第49回日本毒性学会学術年会(2022.6.30, 札幌)
5	発表者名（ポスター）	村崎亘[1], 安部賀央里[1], 頭金正博[1], 山田隆志, 足利太可雄
	他機関所属の著者がいる場合には所属機関名を記載する	[1] 名古屋市立大学大学院薬学研究科　医薬品安全性評価学
	演題名	機械学習アプローチによる皮膚感作性強度を予測する回帰モデルの開発
	学会名, 発表年月及び場所	第49回日本毒性学会学術年会(2022.6.30, 札幌)

6	発表者名（ポスター）	飯島一智[1], 鈴尾美穂[2], 三浦結美[2], 西田明日香[2], 大野彰子, 足利太可雄
	他機関所属の著者がいる場合には所属機関名を記載する	[1] 横浜国立大学大学院工学研究院 [2] 横浜国立大学大学院理工学府
	演題名	未分化および分化THP-1細胞を用いたナノマテリアルの免疫毒性評価
	学会名, 発表年月及び場所	第49回日本毒性学会学術年会(2022.7.1, 札幌)
7	発表者名（口頭）	小島肇
	他機関所属の著者がいる場合には所属機関名を記載する	
	演題名	３Rs を取り巻く国際動向と課題
	学会名, 発表年月及び場所	第49回日本毒性学会学術年会(2022.7.2, 札幌)
8	発表者名（ポスター）	大野彰子, 西田明日香[1], 飯島一智[2], 広瀬明彦, 足利太可雄
	他機関所属の著者がいる場合には所属機関名を記載する	[1] 横浜国立大学理工学府 [2] 横浜国立大学　大学院工学研究院
	演題名	THP-1細胞への活性化に及ぼす二酸化チタンナノ粒子の物理化学的特性因子
	学会名, 発表年月及び場所	第49回日本毒性学会学術年会(2022.7.2, 札幌)
9	発表者名（ポスター）	安彦由喜恵[1], 榊原隆史[1], 越田美[1], 立崎睦美[1], 古川桂子[1], 松浦正男[1], 松井豊[1], 小島肇
	他機関所属の著者がいる場合には所属機関名を記載する	[1] 株式会社化合物安全性研究所
	演題名	ウシ角膜を用いる混濁度および透過性 (BCOP) 試験法への病理組織検査組み込みの提案 －病理組織検査によるUN GHS予測モデルの構築－
	学会名, 発表年月及び場所	第49回日本毒性学会学術年会(2022.7.2, 札幌)